

ウェブユーザビリティを踏まえたウェブサイト構築支援に関する一提案

A suggestion for a website support development based on web usability

CS27 高橋数馬
指導教員 米山秋文

1. 背景

初心者がウェブサイトを制作する場合、支援サイトを見ながら制作する場合がほとんどである。ウェブサイトを制作するときに必要な情報は、インターネット上の支援サイトで提供されているからである。現存する支援サイトのほとんどは「タグ」だけを紹介した支援サイト、または「使いやすさ(ウェブユーザビリティ)」だけを紹介した支援サイトである。双方を両立させた支援サイトも存在はするが、実際に内容を互いにリンクさせながら説明している支援サイトは調査した範囲では存在しない。

初心者はウェブサイトを制作するとき、始めにHTMLの基本の構成要素である「タグ」を学ぶ。しかし、支援サイトに「タグ」しか掲載していない場合、ウェブサイトの知識が「タグ」のみになってしまう問題が起こる。「タグ」の知識だけで構成されたウェブサイトは製作者が見せているつもりでも、実際には見づらく使いづらいウェブサイトになっている場合がほとんどである。このことは、現在のウェブサイトの「見やすく使いやすい」という常識に反している。

2. 提案

背景で挙げた問題を基に、「タグ」と「使いやすさ」をお互いにリンクさせながら学ばせる。

これは、「タグ」と「使いやすさ」を両立させた支援サイトが一般的に普及することによりウェブサイトの基礎構築レベルが向上し、末端ユーザがより素早く情報を収集できるようになることを目的としたものである。

3. ウェブユーザビリティに対する意識調査

平成19年度サレジオ高専情報工学科 1,2 学年計 45 人のウェブサイトの制作経験者に対しウェブユーザビリティに関する調査をし、ウェブユーザビリティに関する情報の採取を行った。

4. ウェブユーザビリティ効果の検証

ウェブユーザビリティ指導を行ったウェブサイトのバックナンバーから最新の状態までを比較検証した。その結果、表 4-1 のタグの知識だけで構成されたウェブサイト、ウェブユーザビリティの知識を与えることで、表 4-2 の様に、ウェブサイトの「見やすさ」「使いやすさ」が大幅に向上する結果になった。

表 4-1:初期のサイトの検証結果

良い点
なし
悪い点
背景のコントラストが高い 文字色が白 リンク色を変更している メニュー名からコンテンツ内容が推測できない トップページに戻るリンクが設置されていない トップページからサイトの内容が把握できない トップページであると判断できない 連絡先が表示されていない

表 4-2:最新のサイトの検証結果

良い点
文字の背景色が基本色 文字色が基本色 リンク色が基本色 管理者へ連絡が取れる 目立つ場所に更新履歴が表示されている トップページからサイトの内容が把握できる メニュー名からコンテンツ内容が推測できる サイト内の現在位置が分かるようになっている タグラインが設置されている
悪い点
管理者へのメール内容が限定される可能性がある

5. まとめ

ウェブユーザビリティ指導の経験と、これらの結果を根拠に、「タグ」と「使いやすさ」をお互いにリンクさせたウェブサイト制作支援サイトを構築し、それを使用し、サイトを構築することにより、初心者のおかげから「見やすく使いやすい」という、現在主流となっているウェブサイトの表現方法を意識せずに実現することが出来るものとする。

6. 今後の課題

サイトを完成させ、実際に稼働させてユーザに使用してもらい、ユーザが完成させたサイトのウェブユーザビリティを検証する必要がある。

文献

- [1] ソシオメディア(株), “標準ウェブユーザビリティ辞典,”
- [2] Jakob Nielsen, “ヤコブ・ニールセンの Alert box – そのデザイン、間違ってます”